



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月28日

上場会社名 SBテクノロジー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4726 URL <https://www.softbanktech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 阿多 親市

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 清水 哲也 TEL 03-6892-3063

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	49,062	19.9	2,473	14.8	2,461	13.8	1,479	11.5
2020年3月期第3四半期	40,916	11.4	2,154	42.4	2,162	68.9	1,326	69.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,510百万円(9.3%) 2020年3月期第3四半期 1,381百万円(76.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	73.28	72.79
2020年3月期第3四半期	66.26	65.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	34,447	18,550	50.2	855.39
2020年3月期	32,486	17,617	50.5	813.94

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 17,293百万円 2020年3月期 16,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	6.3	3,600	18.6	3,600	18.7	2,100	13.1	104.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	22,723,500株	2020年3月期	22,663,200株
2021年3月期3Q	2,505,822株	2020年3月期	2,501,422株
2021年3月期3Q	20,184,851株	2020年3月期3Q	20,018,615株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2021年1月28日（木）に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会（オンライン配信）を開催いたします。決算補足説明資料はTDnetで開示するとともに、当社ホームページ（<https://www.softbanktech.co.jp/corp/ir/>）にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

世界的に広がる新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動は停滞を余儀なくされました。足元では、新型コロナウイルス感染症が断続的に再拡大するなど先行きは極めて不透明な状況であり、企業の業績や設備投資の回復ペースは緩やかになると考えられます。社会的に外出自粛や非接触が求められる中で、多くの企業はクラウド化やテレワークへの対応を行ってきましたが、急激な働き方の変化に伴うセキュリティ対策が遅れた結果、サイバー犯罪が増加傾向でありセキュリティ対策の強化が一層求められるようになってきました。また、企業は社会の大きな変化を受けてITを活用しこれまでのビジネスモデルを変革する必要に迫られるようになってきました。

このようなニューノーマルと呼ばれる新しい時代に向けた変化へ対応するために、企業においては戦略的事業領域の強化や競争優位確保のためのDX（デジタルトランスフォーメーション）対応が求められ、官公庁においてもデジタルガバメント実現に向けたデジタル庁の創設やそれに伴う民間人の登用が進められています。新型コロナウイルス感染症の影響が顕在化する前と比べて、国内におけるIT投資の成長は鈍化することが見込まれていますが、喫緊の課題及び戦略的なIT投資の需要は堅調であると考えております。

このような経営環境の中、ICTサービス事業は堅調に推移し、前年同期と比較して各ソリューションごとの業績は以下のとおりとなりました。

ビジネスITソリューションは、ソフトバンク㈱における事業部門向けのシステム開発やIoT案件などが拡大しました。また、政府DXにおける農林水産省向け電子申請基盤の開発案件も進捗したほか、厚生労働省向け日本版O-NET保守運営などにより、売上が拡大しました。

コーポレートITソリューションでは、ソフトバンク㈱のグループ会社における大型クラウドシステムの開発フェーズがピークを迎え運用フェーズに移った影響が出たものの、新型コロナウイルス感染症の影響で加速するDXの取り組みの一環としてゼロトラストセキュリティの構築やヘルプデスク業務などの運用、また自社サービスであるclouXion（クラウドジョン）やマネージドセキュリティサービスの売上が伸長しました。

オンプレミス環境のソリューションを提供するテクニカルソリューションでは、前年第3四半期より開始したソフトバンク㈱のIT領域におけるベンダーマネジメント案件が増収を牽引し、また第2四半期より㈱電縁を連結したことによる効果もあり増収増益となりました。

ECソリューションでは、ノートンストアのEC運営代行ビジネスが落ち込んだものの、フロント事業が順調に推移し減収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、以下のとおりとなりました。

なお、売上高、限界利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は第3四半期連結累計期間として、過去最高となりました。

(百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減	増減率
売上高	40,916	49,062	8,146	19.9%
限界利益	11,702	13,927	2,224	19.0%
固定費	9,547	11,454	1,906	20.0%
営業利益	2,154	2,473	318	14.8%
経常利益	2,162	2,461	298	13.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,326	1,479	152	11.5%
1株当たり 四半期純利益	66.26円	73.28円	7.03円	10.6%

なお、当社の報告セグメントは「ICTサービス事業」の単一セグメントとしておりますが、「ICTサービス事業」を構成する各ソリューションの内容及び業績については、P.5の〈ソリューション区分の説明〉をご参照ください。

〈 第3次中期経営計画の進捗 〉

当社グループは「サービスプロバイダーへの進化」と「コンサルティング&ビジネスITの創出」を重点テーマに位置付け、第3次中期経営計画を推進しております。

・サービスプロバイダーへの進化

コロナ禍における働き方改革やテレワーク推進が加速しており、時間や場所にとらわれない多様な働き方が模索されています。その一方で、クラウドを活用したテレワーク環境ならではのセキュリティリスクや課題が顕在化しており、企業は早急な対応が求められています。

テレワークが新たな働き方として定着していく時代においては、セキュリティ対策も今までの前提から考え方をシフトしていく必要があります。社内と社外を区別せずに全ての通信を疑って監視する「ゼロトラストセキュリティ」と呼ばれるセキュリティ対策モデルが注目されています。当社では、このゼロトラストセキュリティの構築・導入を多数支援しており、そのノウハウをサービスへ昇華した『ゼロトラストセキュリティ スターターパック』の提供を開始しました。当社の推奨設定で導入支援することにより、急がれるテレワーク下でのセキュリティ対策の導入を短期・安価に実現することが可能となりました。

第3次中期経営計画の2年目となる当期においては、第3四半期までの自社サービス売上高は前年同期比50.3%増の1,442百万円となりました。2022年3月末時点における自社サービスのストック売上のパートナー販売比率目標を50%と定めており、2020年12月末では22.6%となりました。

・コンサルティング&ビジネスITの創出

特にグローバル製造業・建設業・農業の分野に注力して取り組んでおります。これらの業界においてお客様の競争力強化のためのクラウド活用や、IoTサービスの開発、営業支援システムとマーケティングシステムの連携、政府全体のデジタルガバメント実現への取り組みなどを大きな機会と捉えており、研究開発や新サービス開発、開発体制の強化などを進めております。

経済産業省が公表したDXレポート2（中間取りまとめ）において、「ベンダー企業の目指すべき方向性」のなかに「協調領域を担う共通プラットフォーム提供主体」が挙げられております。当社は、注力業界においてお客様の非競争領域におけるサービス開発に取り組んでおり、その第1弾として建設業界に特化した作業所向けサービスである『Con-Brigde（コンブリッジ）』の提供を開始しました。『Con-Bridge』は、当社独自の認証基盤を活用したID統合管理を軸に、現場ニーズに対応した機能を実装することで、建設作業所におけるさまざまな課題解決を支援します。これにより、情報を扱う人の出入りが多い建設現場での正確かつ効率的な人の管理と柔軟な働き方への対応が可能となり、管理工数の削減、セキュリティレベルの向上、現場業務の効率化を実現することができます。

当社は今後、新規機能の実装にとどまらず、建設業向け就業データ管理システムや建設系SaaSなど外部サービスとの連携も視野に入れ、『Con-Bridge』の機能拡充を進めることで、建設作業所におけるICT活用を促進し、建設業全体へのDX貢献を目指します。

今後も当社は、お客様とともにビジネスの協創を行い、事業の成長を支援してまいります。

当社は2022年3月期において、企業のクラウドファースト戦略を実現するコーポレートITソリューション及びビジネスITソリューションの売上高構成比率を50%まで引き上げるとともに、「連結営業利益43億円（2019年3月期を起算にCAGR20%成長）」を達成することを経営指標に掲げております。

当第3四半期連結累計期間におけるコーポレートITソリューション及びビジネスITソリューションの売上高構成比率は、ソフトバンク向けのベンダーマネジメント案件や第2四半期より㈱電縁を連結したことによる影響でテクニカルソリューションが拡大した結果、前年同期比1.8ポイント減の32.6%となりました。営業利益は前年同期比14.8%増の2,473百万円となりました。

〈 サステナビリティへの取り組み 〉

ソフトバンクグループは「情報革命で人々を幸せに」という経営理念の下、世界の人々が最も必要とするサービスやテクノロジーを提供する企業グループを目指し、通信事業を基盤に情報・テクノロジー領域においてさまざまな事業に取り組み、企業価値の最大化を図ってきました。その中において当社は、「情報革命で人々を幸せに～技術の力で、未来をつくる～」をミッションとし、ICTサービスの提供を通じて豊かな情報化社会の実現に貢献しています。2019年3月期に実施した全社ワーク「Vision 2030」を経て、2020年3月期より「多様な働き方と挑める環境で先進技術と創造性を磨き、社会に新しい価値を提供し続ける企業」をビジョンに掲げ、現在、コロナ禍におけるテレワーク基盤の支援、建設業・農業分野における人手不足や生産性向上などの社会的な課題に対してICTサービスを活用した支援を行い、「持続可能な開発目標（SDGs）」を達成するための取り組みを行っております。

当社グループは今後も事業活動及び企業活動を通じて、さまざまなステークホルダーとともに社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

〈 ソリューション区分の説明 〉

当社の報告セグメントは、「ICTサービス事業」の単一セグメントとしており、「ICTサービス事業」を構成する主要なソリューションの内容及び業績については、次のとおりです。

また、各ソリューション区分の前年同期の金額は現在の計上方法に則して算出しております。

ソリューション区分	ソリューション内容	主な事業会社の名称
ビジネスIT ソリューション	< クラウドビジネス／事業部門向け > ・コンサルティングサービス ・DXソリューション ・AI・IoTソリューション 等	・SBテクノロジー(株) ・サイバートラスト(株) ・リデン(株)
コーポレートIT ソリューション	< クラウドビジネス／全社・管理部門向け > ・クラウドインテグレーション ・業務効率化サービス ・クラウドセキュリティサービス ・セキュリティ運用監視サービス ・電子認証ソリューション 等	・SBテクノロジー(株) ・サイバートラスト(株) ・M-SOLUTIONS(株) ・(株)環 ・アソラテック(株)
テクニカル ソリューション	・オンプレミスのシステムインテグレーション ・機器販売、構築、運用保守サービス ・Linux/OSS関連製品の販売、組込開発 等	・SBテクノロジー(株) ・サイバートラスト(株) ・(株)電縁
ECソリューション	・ECサイト運営代行 ・フォントライセンスのEC販売 等	・SBテクノロジー(株) ・フロントワークス(株)

(百万円)

		前年同期	当第3四半期	増減	増減率
ビジネスIT ソリューション	売上高	2,505	3,655	1,150	45.9%
	限界利益	1,127	1,356	228	20.3%
	利益率	45.0%	37.1%	△7.9ポイント	—
コーポレートIT ソリューション	売上高	11,580	12,348	767	6.6%
	限界利益	4,716	5,296	579	12.3%
	利益率	40.7%	42.9%	2.2ポイント	—
テクニカル ソリューション	売上高	10,516	16,817	6,300	59.9%
	限界利益	3,557	4,951	1,393	39.2%
	利益率	33.8%	29.4%	△4.4ポイント	—
ECソリューション	売上高	16,313	16,241	△72	△0.4%
	限界利益	2,300	2,322	21	1.0%
	利益率	14.1%	14.3%	0.2ポイント	—
計	売上高	40,916	49,062	8,146	19.9%
	限界利益	11,702	13,927	2,224	19.0%
	利益率	28.6%	28.4%	△0.2ポイント	—

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(百万円)

	前期末	当第3四半期末	増減
総資産	32,486	34,447	1,960
純資産	17,617	18,550	932
自己資本比率	50.5%	50.2%	△0.3ポイント

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より1,960百万円増加して34,447百万円となりました。

流動資産は、仕掛品の増加などにより、前連結会計年度末より875百万円増加しました。

固定資産は、のれんの増加などにより、前連結会計年度末より1,085百万円増加しました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より1,027百万円増加して15,896百万円となりました。

流動負債は、買掛金の減少などにより、前連結会計年度末より174百万円減少しました。

固定負債は、長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末より1,202百万円増加しました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末より932百万円増加して18,550百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後さまざまな要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

なお、2020年4月27日に公表しました2021年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,826	9,882
受取手形及び売掛金	12,714	12,624
商品	26	219
仕掛品	757	1,121
その他	1,026	1,378
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,350	25,225
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	731	831
工具、器具及び備品（純額）	756	802
その他（純額）	—	6
有形固定資産合計	1,488	1,641
無形固定資産		
のれん	554	1,333
ソフトウェア	1,397	1,604
ソフトウェア仮勘定	591	918
顧客関連資産	335	353
その他	170	149
無形固定資産合計	3,049	4,358
投資その他の資産		
投資有価証券	782	638
繰延税金資産	960	871
その他	1,854	1,710
投資その他の資産合計	3,597	3,220
固定資産合計	8,135	9,221
資産合計	32,486	34,447

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,258	7,341
1年内返済予定の長期借入金	—	493
リース債務	88	86
未払金	1,163	1,200
未払法人税等	810	293
前受金	1,554	1,942
賞与引当金	1,055	563
役員賞与引当金	—	79
受注損失引当金	198	186
瑕疵補修引当金	1	—
資産除去債務	—	9
その他	397	1,156
流動負債合計	13,528	13,354
固定負債		
長期借入金	—	1,252
リース債務	291	226
繰延税金負債	68	101
長期前受金	495	408
退職給付に係る負債	45	50
資産除去債務	326	357
その他	112	144
固定負債合計	1,340	2,542
負債合計	14,869	15,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176	1,229
資本剰余金	1,268	1,321
利益剰余金	15,549	16,322
自己株式	△1,568	△1,568
株主資本合計	16,425	17,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17	△14
為替換算調整勘定	2	3
その他の包括利益累計額合計	△14	△11
新株予約権	205	227
非支配株主持分	1,000	1,028
純資産合計	17,617	18,550
負債純資産合計	32,486	34,447

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	40,916	49,062
売上原価	34,000	41,121
売上総利益	6,915	7,940
販売費及び一般管理費	4,760	5,467
営業利益	2,154	2,473
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	0
持分法による投資利益	11	11
助成金収入	—	11
雑収入	8	11
営業外収益合計	21	34
営業外費用		
支払利息	5	11
為替差損	4	3
支払手数料	—	16
雑損失	3	14
営業外費用合計	14	46
経常利益	2,162	2,461
特別利益		
投資有価証券売却益	2	103
特別利益合計	2	103
特別損失		
段階取得に係る差損	—	5
減損損失	14	53
投資有価証券評価損	—	29
事務所移転費用	—	14
特別損失合計	14	103
税金等調整前四半期純利益	2,150	2,461
法人税、住民税及び事業税	580	780
法人税等調整額	192	174
法人税等合計	773	954
四半期純利益	1,376	1,506
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,326	1,479
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	27
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	2
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益合計	4	3
四半期包括利益	1,381	1,510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,330	1,482
非支配株主に係る四半期包括利益	50	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間において、㈱電縁の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。また、㈱電縁の完全子会社であるアイ・オーシステムインテグレーション㈱を連結の範囲に含めております。